

# 第30回定期中央本部大会 職場討議資料

運動方針  
(案) 抜粋

2018年7月11日(水)～13日(金) 於:新大阪ワシントンホテルプラザ

**JR WEST**  
**西労組**  
**UNION**  
**ニュース**

**No.12**  
(通算)No.521  
2018.6.29

JR西労組ホームページ  
(<http://www.jrw-union.gr.jp>)

西日本旅客鉄道労働組合

本部/〒530-0012 大阪市北区芝田二丁目一十八番

TEL NTT(06)六三三-五九八六(代)  
TEL JR(大阪)07-117-155(代)  
FAX JR(大阪)07-117-153(代)  
FAX JR(大阪)07-117-151(代)

●発行責任者/荻野山勇市  
●編集責任者/宮馬朗



写真は昨年度の大会の様様

## 第30回定期中央本部大会スローガン(案)

メインスローガン

### 創造・参加・実践

責任組合の役割を自覚し、安全を基礎に、  
持続的発展に向けた展望を切り拓こう!

サブスローガン

1. 労使で築いた安全考動計画2022の完遂に向け、  
チェック・提言機能を研ぎ、全員参加で安全対策を強化しよう!
2. 分会活動とコミュニケーションを活性化し、ハラスメント防止と  
組合員に信頼される組織の強化・運動の継承を進めよう!
3. 労働力不足をはじめとする課題に向き合い、  
組合発の企画提案運動を強化し展望を拓こう!
4. 男女平等参画、ワーク・ライフ・バランス、  
働き方改革を推進し、充実した職場と豊かな人生を築こう!
5. 地域との対話と参加を大切に、  
鉄道の特性を活かした地域活性化を図ろう!
6. 来る統一地方選挙・参議院議員選挙に向け、政治への  
理解を深め、働く者の立場から政策を実現し将来を築こう!

## はじめに

私たちJR西労組は2016年12月6日に結成25年をむかえ、次代に向けて25周年を機に定めた「次代の運動方針」に基づきその取り組みを一歩ずつ進めています。一方、JR西日本では2030年のありたい姿に向けて「JR西日本グループ中期経営計画2022」並びに「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」がスタートしました。今日の安定した雇用と労働条件や健全な労使関係を今後も継続・発展させていくために、「対立と協力」を柱に責任組合の役割を自覚し、安全を基礎に持続的発展に向け取り組みを進めていきます。

本定期大会では、おもに以下の当面する重要方針について提起します。

福知山線列車事故から13年をむかえ、事故現場の整備も進んでいます。また、本年1月で伯備線触車事故から12年となりました。そのような中、昨年12月に新幹線では初めての「重大インシデント」を生じさせてしまいました。重大インシデントに対する有識者会議による厳しい指摘に対しては真摯に受け止め、我々労働組合のことも重要な機能でもある「チェック機能」と「提言活動」に磨きをかけ、より一層の安全の確立を図っていきます。さらに、一歩間違えれば重大労災につながるかねない事象が今もなお相次いで発生しており、職場の危険や不安全行動を最も確に把握できる労働組合の強みを活かして、「JR西労組安全提言」を各級機関で積極的に活用し、グループ、協力会社を含めた職場からの安全性向上に向けた取り組みを進めていきます。

2018春季生活闘争は、緩やかな景気拡大に支えられ増収増益の予想の中での交渉を展開してきました。堅調な経営状況にあるJR西日本に対して公正配分を求め、組合員の負担に応え、グループ労組への相乗効果も発揮できるよう組織の総力を挙げて臨んだ結果、5年連続のベアをはじめ、多くの成果を収めました。

労使で議論している働き方改革やワーク・ライフ・バランスの推進、シニア・シニアリーダー社員への処遇改善はもろろんのこと、契約社員の縮小廃止に向けた「駅の業務体制のあり方」や法改正が予定されている「同一労働同一賃金」への対応については引き続き協議を進め、今年度中に一定の方向性を示せるよう取り組みます。また、労働力不足をはじめとする環境変化に対応するために、働く側からの視点で企画提案運動を進め、今後の職場、働き方を構築していきます。

めとする環境変化に対応するために、働く側からの視点で企画提案運動を進め、今後の職場、働き方を構築していきます。

また。一方、北陸新幹線やなにわ筋線の建設、吉備線LRT化などJRの将来展望につながる交通政策課題も山積しており、政治との連携がより一層求められています。来年には統一地方選挙や参議院議員選挙が控えており、会社の持続的な発展にむけ、組合員と家族に政治の重要性について理解を深めていくこととします。

組合員各位には、こうした問題意識に基づき、建設的で真摯な討議を行い、次世代にむけて魅力と責任あるJR西労組運動を研ぎ、実践いただくよう要請します。

組織の充実・強化について、JR東労組での大量脱退運動を反面教師として労働組合の原点である助け合いの精神を発揮して、組合員から信頼され、職場の課題を的確に把握して会社に提起することのできる組織を作りあげべく、改めて仲間を呼び添い、組合員とのコミュニケーションを重視した分会活動の充実に取り組み、職場でのハラスメントを撲滅し、魅力と求心力のあるJR西労組運動を全員参加で作りに上げていきます。



## JR西労組第30回定期中央本部大会の開催要領

1. 日時 2018年7月11日(水)12:30～13日(金)13:00まで  
受付開始:7月11日 11:30～
2. 場所 「新大阪ワシントンホテルプラザ」
3. 議事 (1) 執行経過報告  
(2) 決算報告、会計監査報告  
(3) 当期剰余金処理(案)  
(4) 協約・協定締結報告  
(5) 業務上過失事故救援規則の適用承認  
(6) 運動方針(案)  
(7) 予算(案)  
(8) 規約・諸規則の一部改正  
(9) 中央委員の選出  
(10) 顧問の委嘱  
(11) その他
4. 出席範囲 (1) 中央本部役員(会計監査員を含む)  
(2) 代議員(146名)、  
特別代議員(3名:新幹線協議会)
5. 大会日程(予定)

7月11日(水) (第1日)	12:30	開会/主催者あいさつ、来賓あいさつ/執行経過報告・運動方針(案)提起等
	16:40	休会
	16:45	記念講演 「JR西日本のプロジェクト工事について」
7月12日(木) (第2日)	18:30	大会レセプション
	8:30	議事、全体質疑
	12:15	昼食休憩
	13:15	小委員会(質疑)/第1(組織・財政)/第2(業務)
	17:30	休会
7月13日(金) (第3日)	8:30	小委員会報告
	9:15	全体討議・採択
	11:35	その他
	13:00	閉会

## 運動の基調

### 創造・参加・実践

責任組合の役割を自覚し、安全を基礎に、  
持続的発展に向けた展望を切り拓こう!

1 労使で築いた安全考動計画2022の  
完遂に向け、チェック・提言機能を研ぎ、  
全員参加で安全対策を強化する

福知山線列車事故から13年、伯備線触車事故から12年が経過しました。安全考動計画2017の5年間に死亡労災事故を3件発生させ、感電や墜落などの重大労災も多く発生しています。また、新幹線では初となる重大インシデントが発生させてしまいました。安全の取り組みは我々の不断の努力で着実に進んでいる一方で、まだまだ多くの課題があることも認識しなければなりません。

職場の安全が全ての基本であるという認識のもと、「JR西労組安全提言」を活用して、それぞれの職